



協議会だより

生涯学習青少年育成部会

北朝鮮による日本人拉致事件を振り返る

～北朝鮮の祖国統一の道具にされた日本人拉致被害者～



中御所区「お出かけサロン」と第五地区「生涯学習青少年育成部会」の共催による人権教育講演会が2月8日（金）に中御所公民館で、中御所防犯協会顧問で第五地区人権教育指導員の小林秀雄氏に講師をお願いして開催されました。今回、北朝鮮がなぜ日本人を拉致したのか、どうして返さないのかを解説していただきました。

朝鮮半島は現在も停戦中で、戦争状態が続いております。これは、昭和20年から北緯38度線を境にして、南北に分断されていた朝鮮は昭和25年、金日成が指揮する北朝鮮軍が朝鮮半島を統一するため、韓国に武力侵攻し戦争に突入しました。韓国を支援する国連軍と北朝鮮を支援する中国人民解放軍が激突し、全面的な戦争に発展し300万人の死者がでました。



その後、昭和28年に休戦状態に入り、今日に至っております。この頃から北朝鮮は韓国に対するスパイ活動を活発化させるなど、朝鮮半島を統一する夢は捨てませんでした。

昭和50年代から60年にかけて、主として日本海沿岸で不自然な形で日本人の行方不明者が発生してきました。警察などの捜査や亡命北朝鮮工作員などの証言により、北朝鮮の組織的な拉致事件だと言うことが判明しました。

捜査の結果、最初は北朝鮮の工作員に主として韓国内でスパイ活動をさせました。

これが韓国当局の摘発によって、活動が困難になったことにより、比較的韓国に出入国がしやすい日本人を装った工作員を潜入させました。そして日本語や日本人になりすませるための教育係として、日本人を拉致しはじめたことが判りました。日本政府が認定した拉致被害者は17名ですが、5名しか帰国しておりません。これが日本人拉致事件の概要です。安倍政権は重要課題として拉致問題の完全解決に向けて取り組んでおられます。



たすけあい事業の「協力会員を募集」しています！

～どうかご支援をお願いします～

「人間に備わっている他人のために……」のその気持ちは誰もが持っています。どうかあなたの時間を貸してください。

- * 活動内容は、「家事援助」や「福祉移送」車両の運転です。「家事援助」は、掃除・洗濯及び食事づくりなどです。「福祉移送」は、講習受講等の条件があります。
- * 熱意のある方であれば、年齢や経験は問いません。

詳しくは、コーディネーターにお問い合わせください。

電話 238-2820 第一から第五地区合同事務所内 山田・浅倉まで



健康体操教室

腰痛改善、背中スッキリ、お腹スッキリ、身体軽やかに！誰もが明るく元気に健康な毎日が過ごせるよう、また、日常の運動不足解消や健康増進、生活習慣病を予防するために、健康体操教室を開催しました。1月29日（火）に中御所公民館で、毎回指導いただいている健康運動指導士の徳武有紀講師の指導で行いました。

徳武講師は日頃から「自分の身体をどのように作ったらよいか。身体を整えるコンディショニング中心の運動指導」を研究されておられ、歯を食いしばって一生懸命する体操とは違い、老若男女誰でも気軽にできる体操で、自分の経験を通して指導されるので、楽しみながら楽になり、多くの徳武ファンがいて、各地で研修会を開催して好評を得ておられます。

参加者の中には、中御所で「はつらつ体操」を行っている方がいたり、和気あいあいと和やかに始まりました。まず、「自分の身体を知って何をやったら良いかを今日は考えてください」で、スタートしました。人生100年時代を生きていく上でのきっかけになるので、ぜひ体操は続けて行ってください。まず自分の身体を知って、今何が必要かを知ることが大切です。

椅子に長く座っていると腰が痛くなることがあります。座って両方のお尻の下にある骨が坐骨です。この坐骨の上に座って頭の天辺まで一本の筋が通った感覚で真っすぐ引き伸ばし、息を吸ったり吐いたりします。下腹が身体の中に引き込まれた感覚になります。次にこの状態で立ち上がると、身体が楽になりバランスがとれた正しい姿勢になります。

何をやったら良いか、どの位やったらよいかは、自分の身体に聞いてやってくださいとのことです。



地域の防災力をアップしよう！

～『考える防災教室』講演会～

昨年7月には西日本豪雨による水害で岡山県倉敷市真備町は51人の命が奪われました。また、9月には北海道胆振東部地震で、M6.7震度7の揺れで大きな被害を被っています。

巨大な被害から住民の命と生命を守るためには、自分たちの命は自分たちで守るという「自主防災」、あるいはコミュニティに根ざして取り組むという「地域防災力」が不可欠であることを、改めて私たちに教えてくれました。

第五地区防災士会では、『楽しいBOSAI（防災）』事業で、子どもたちを中心とする若いファミリー層を対象に、災害時に必要な「知識」や「技」を身につけてもらうための、新しいタイプの防災訓練を実施しており、今年8月には4回目を迎えます。この事業の一環として、地域の防災力をアップするために、広域避難所運営マニュアルなどを構築する『考える防災教室』を設けて実施しております。

2月14日（木）に南石堂町公民館で、長野市総務部危機管理防災課の中村元昭課長補佐に講演いただきました。中村氏は、岡山県倉敷市真備町の水害被害に長野市からの復旧応援部隊の一員として、現地で長期間にわたり活動されました。この時の体験に基づいて、大勢が避難生活を過ごす上でのアドバイスや心がけることなど、現場ですぐに活かせる情報を交えて、避難所運営について講義いただきました。



また、避難生活を過ごす上で屋内でのプライバシーの確保や必要な備品などのお話や、長野市が備蓄している災害対策用プライベートテントや間仕切り、簡易トイレなど現物を組み立てる体験をしました。

今後長野市が実施する「疑似避難生活体験」を活用して、地域住民と避難所運営マニュアルを構築していく予定です。



男の料理教室

中御所公民館との共催事業「男の料理教室」は、2月18日（月）中部公民館第五分館で、お馴染みのAB・ABの笠原オーナーの指導で行われました。今回は料理の内容は事前公開しないで当日発表としたため、参加者はそれぞれバンダナとエプロンスタイルで参加されました。

今回の料理は、笠原オーナーが入念に考えていただいた、もつ煮、ちくわと野沢菜の天ぷら、ぶた肉の黄金焼きで、調理方法の説明を受けました。

もつ煮は、よく煮込んだもつに大根、銀杏切にしたニンジン、玉ねぎ、手でちぎったこんにゃく、鷹の爪を隠し味として少量加え味噌で入念に煮込みます。ちくわは1本を8ツに切り分け天ぷらに、野沢菜は2cm位に切り、天ぷら粉にまぶして、かき揚げにします。ぶた肉の黄金焼きはバラ肉が一番おいしいとのことで、塩コショータぶた肉に小麦粉をふりとき卵で包んでフライパンで焼きあげます。洋食では高級な料理に属するそうです。



それぞれが、野菜を刻む人、これを鍋に入れて煮詰めて味噌で味付けする人、フライパンでぶた肉を焼く人、出来た料理を盛り付ける人と、皆さん手際良く作業して、短時間で順調に料理が出来上がりました。参加者の中には、野菜を手際よく刻む人が沢山おられ、家庭で調理を手伝われている腕前が伝わりました。

出来上がった料理をそれぞれ器に盛り付けて味わいました。各料理ともこれが自分たちで調理した料理かと疑うほど美味しく、堪能しておりました。特に野沢菜のかき揚げは好評でした。そして、次回のメニューのリクエストが何品か要望され、さらには年間2回開催のリクエストが何人からも提案されました。



各町からのお知らせ



南石堂町・北石堂町
岡田町・末広町より

4町合同どんど焼き

平成最後の新年を迎え、小正月恒例のどんど焼きが、南石堂町、北石堂町、岡田町、末広町の四町合同で南石堂町が幹事町で1月13日（日）午後2時から雪もなく穏やかな天候に恵まれ行われました。

例年の裾花川相生橋の下流の河川敷は県の「信州エースプロジェクト」によるウォーキングロード最終工事の最中のため、今回の開催場所は、ここより下流の長水建設会館前の河川敷に変更して行われました。

早朝から各町の育成会で子どもたちが、家庭や商店、企業などから集めた門松やしめなどの正月飾りを、大人のお手伝いで雄と雌の夫婦飾りやぐらに組み立てました。地域柄、地元には企業が多く所在する関係で、大型のだるまがたくさん集められ、見事なやぐらに組み立てられました。

柘植市議、各町の区長や役員により火が入られたやぐらは、勢いよく燃え上がりました。子どもたちも大勢集まり、お菓子やミカン、飲物などを貰って、仲間で元気よく駆け回っておりました。



各町からのお知らせ

中御所 より

学業成就合格祈願祭 ～中御所堀組：御所天満宮～

入学試験が迫ってきた1月27日（日）に、学問の神様菅原道真公が祀られている、中御所堀組の御所天満宮で学業成就合格祈願祭が執り行われました。

前日夕方からの雪は北部の山沿い中心に大雪になり、長野市街地では13cmの積雪に見舞われましたが、儀式が始まるまでに役員や関係者によりきれいに整備されました。午後の祈願祭が始まる頃には、天候は回復に向かい晴れ間が出てきました。寒い日に関わらず、近年になく近郊からも大勢の祈願者が訪れました。祈願者が大勢のため、祈願札に氏名を記入する待ち時間の合間に、齋藤宮司から、平安時代に日本の文化を確立し894年に遣唐使の停止を建議した天神様の菅原道真公の功績についてお話がありました。

儀式は弥栄神社のお二人の齋藤宮司により、お祓い、宮司合格祈願祝詞、玉串奉納など一連の儀式が厳かに執り行われました。小林真総代から「只今、宮司から受験生の皆さまのお名前が読みが上げられ祈願していただきました。もう大丈夫です。あとは自信を持って健康に留意して受験に臨んでください。」と、あいさつがありました。

合格祈願者には、お札と絵馬、ノートなど記念品が贈呈されました。受験生の轟君は「一生懸命受験勉強をしてきました。合格をお祈りしましたので、3月24日の合格御礼祭には、再び御礼に訪れます。」と自信を持って答えられました。

齋藤宮司から、「皆さん是非合格御礼祭にお出でください。」と激励されました。



中御所 より

中御所九反どんど焼き

小正月のどんど焼きは、中御所は地域が広いので、九反、堀組、柳原神社の3か所で1月13日（日）午後3時から同時に行われました。育成会の子どもたちが早朝から、注連縄、松飾り、だるま、書初めなど集めて、二つのやぐらに組み立てるお手伝いをして立派に組みあがりました。



九反は例年通りの裾花川長安橋下流の河川敷に、立派な雄と雌の夫婦飾りが組み立てられました。恒例の九反太々神楽保存会による神楽奉納で始まり、来賓の風間県議と役員によりやぐらに点火され、書初めの紙が勢いよく天高く舞い上がりました。

残り火で、それぞれが工夫を凝らした餅焼き器で、身体健康、無病息災、家内安全などを願って、餅やまゆ玉を焼いて自宅に持ち帰りました。

平成最後のどんど焼きは、盛大に行われました。

事務局

第五地区の活動にご意見、ご提案がありましたら、各町の区長さんまたは、事務局にお問い合わせください。

〒380-0833

長野市大字鶴賀権堂町2201番地20

権堂イーストプラザND 1階 第一から第五地区合同事務所

TEL

262-1512 (FAX共通)

メール

dai5@feel.ocn.ne.jp